

アイデア賞に鶴城丘高

「廃油でつくるアロマキャンドル」

西信の起業家コンテスト

西尾信用金庫主催の「西三河ハイスクール・起業家コンテスト2010」の審査発表会が二十九日、西尾市上町のF&G・SEASONで開かれ、最優秀賞に安城農林高校動物科学科、アイデア賞に鶴城丘高校総合学

科が選ばれた。最優秀賞の安城農林高校は、牛乳パックをポットに使った野菜の種苗販売に挑戦し、時代のニーズに合ったエコのアイデアが高く評価された。実質二位となるアイデア賞の鶴城丘高校は、廃油で

つくるアロマキャンドルに取り組み、省エネと癒しという現代の課題に挑戦して、文化祭などで実際に地域住民に喜ばれたことが評価された。

同コンテストは、西尾信用金庫が将来の起業家の育成を目的に西三河南部地区の高校に呼び掛けて開催。十校から二十チームが参加して競われた。

審査は、西尾商工会議所の都築勝久会頭、経済学博士で名古屋大学大学院経済学研究科の家森信善教授、あいやの杉田芳男社長、信金中央金庫地域・中小企業研究所の松崎英一副所長、西尾信用金庫の近藤理事長があたり、代表して審査委員長の家森教授が「今回、実際に汗を流して体験をして学ぶことができたと思う。多くのチームが、仕事は大変だと分かった、同時に楽しかったと発表していた。これが重要なことで、対価を受け取るのは、そのサービスを受けて良かったから払ってくださる。皆さんがこれからは、金を儲けてどれだけ豊かになろうというのではなくて、相手に豊かになつて行けるということを感じられたと思う。こういうトレーニングを是非続けていってほしい」と講評した。



アイデア賞に輝いた鶴城丘高校の皆さん



講評する家森信善教授